

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名 MASUKI GROUP

代表者氏名 代表 増田 敏政

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困 		②飢餓 		③保健 		④教育 	○	⑤ジェンダー 	○	⑥水・衛生 	
⑦エネルギー 	○	⑧経済成長・雇用 	○	⑨インフラ・産業化・イノベーション 		⑩不平等 		⑪持続可能な都市 	○	⑫持続可能な生産と消費 	○
⑬気候変動 		⑭海洋資源 		⑮陸上資源 	○	⑯平和 		⑰実施手段 			

取組のタイトル

MASUKI GROUPで取り組むSDGsについて

取組の説明

※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

○環境に配慮した取り組み

（関連するゴール … 7、11、12、15）



- ・社用車を環境配慮型車両に移行する。
2020年時 17% → 2023年 25% → 2030年 40%を目標とする。
- ・コピー用紙の使用枚数を削減する。
2020年時 635,943枚 → 2023年 10%減 → 2030年 25%削減を目標とする。
- ・社用車のガソリン使用量を毎月集計・データ化し、エネルギー削減のための提案をメール配信する。
- ・廃棄物（ゴミ）の計測を行い、月に1度集計結果を発表し、周知するとともに分別を徹底する。
- ・アルミ、鉄くずは廃品回収をしてもらい、再資源可能資源とする。
- ・可能な書類から随時電子申請に切り替えていき、コピー用紙の使用を抑制する。
- ・管理物件の居室及び共用スペースの蛍光灯をLEDライトに交換。

○社会貢献への取り組み

(関連するゴール … 4、8、15)



- ・従業員の年間休日数をアップする。
2020年時 110日 → 2023年 116日 → 2025年 120日を目標とする。
- ・地域の子供達向けに職業体験を開催。
2020年時 1件 → 2023年 3件 → 2030年 5件を目標とする。
- ・ロードサポートや公園清掃により、定期的に地域の美化活動を実施（緊急事態宣言中等は中止）



ロードサポートの様子



中学生の職業体験の様子

○経済に関する取り組み

(関連するゴール … 8、11、12、15)



- ・地域の事業者・顧客との取引を増やす。
2020年時 2000件 → 2023年 5%増 → 2030年 25%増を目標とする。
- ・環境配慮型商品の売上をアップする。
2020年時 8000万円 → 2023年 8%増 (8640万円) → 2030年 25%増 (10000万円) を目標とする。

○男女平等な職場環境、風土を作る取り組み
(関連するゴール … 5、8、11)



- ・全ての現場に女性用トイレ、女性用更衣スペースを設置。
- ・男性の育休取得を推進し、育休後は独自の時短制度「私定時前に帰ります制度」を利用することで男性の積極的な育児参加が可能となっている。

昨年は現場を束ねる管理職男性社員が育休、時短を実際に活用し、ロールモデルとなっている。

- ・産休・育休の後に職場復帰する女性社員も増えている一方で、やむを得ず退職した社員が同じ待遇で復職できる「シェーン・カムバック制度」や在宅勤務制度を制定する他、育児中の社員が安心して就業できるように、子どもを会社に連れて出勤可能な「親子出勤制度」を2016年から導入。

様々な事情を抱えて就業する社員に対して日ごろから理解することの大切さを養い、お互いに協力し合うことを習慣とすることで、全社員の豊かな人間性の形成、向上を目指す。



親子出勤の様子

○多様な働き方への対応
(関連するゴール … 8、11)



- ・様々な働き方に対応するため、定年後も嘱託社員として雇用する制度、在宅勤務制度、社内副業制度、働きながら学業を修める者や資格取得する者を支援する学費助成制度などを制定。
- ・子育て世代以外にも定年後も嘱託として活躍するシニア層の社員や、働きながら学業を修める者、資格取得を支援する学費助成制度等、幅広く様々な働き方に対応する環境を整備している。